

とちぎ市議会だより

TOCHIGI CITY ASSEMBLY NEWS

第10号

2012.5.18

発行／栃木市議会 編集／議会広報紙発行特別委員会 TEL.0282-21-2253



つがの里の花彩祭

平成24年3月定例会が、2月24日から3月22日までの28日間の会期で開催されました。

本定例会では、平成24年度各会計予算や消費生活条例の制定など、議案55件、また、平成23年度西方町各会計決算の認定などが提案されました。

一般質問は、2月28日から3月2日の4日間に、19人の議員が登壇し、市政全般にわたる質問が行われました。

提出された議案は、人事案件などの一部の議案を除き、所管の常任委員会に付託のうえ詳細な審査を行い、最終日に各常任委員会の審査結果に基づき採決が行われ、議案については、全議案とも原案どおり可決されました。

目次

3月定例会の 主な議案	・・・2
一般質問	・・・3～8
常任委員会審査結果	・・・9～10
討論	・・・11
議案等審議結果	・・・12～13
議会報告会の結果	・・・14～15
議会のうごき	・・・16

3月定例会の主な議案

3月定例会では、平成24年度各会計当初予算11件、平成23年度各会計補正予算13件、条例制定4件、条例の一部改正18件、人事案件4件、その他の案件6件、平成23年度西方町各会計決算の認定8件、陳情2件の審議が行われました。

3月定例会で提案された主な議案等についてお知らせします。

消費生活条例の制定

消費者と事業者との間の情報の質及び量並びに交渉力等の格差にかんがみ、消費者の利益の擁護及び増進に関し、基本理念を定め、市の責務並びに事業者の責務等を明らかにし、市の施策について必要な事項を定め、市民の消費生活の安定及び向上を図るため条例を定めるものです。

栃木市公園条例及び栃木市公園有料公園施設に関する条例の改正

大平運動公園の管理棟の建設に伴い、管理棟が有料公園施設に加わることによ

り、利用日、利用時間、多目的室及びシャワーの使用料の規定を加えるものです。



大平運動公園の管理棟

介護保険条例の改正

介護保険事業計画の見直しに伴い介護保険料の改定を行うための改正です。

改正の概要については、次のとおりです。

- ①平成24年度から平成26年度までの各年度における介護保険料率を改める。
- ②賦課期日後において第1号被保険者の資格の取得、喪失等があつた場合の月割り額の算定方法を改める。

公民館条例の改正

社会教育法の一部改正に伴い、公民館運営審議会委員の委嘱基準を定めるための改正です。

図書館条例の改正

図書館法の一部改正及び栃木市図書館西方分館の設置に伴い、図書館協議会の委員の任命の基準等を定めるための改正です。

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正

小山栃木都市計画における地区計画の変更が決定されたことに伴い改正するものです。

改正の概要については、次のとおりです。

- ①「中根企業用地地区整備計画区域」を「中根産業団地地区整備計画区域」に改める。
- ②地区整備計画区域における建築物の用途の制限、建築物の敷地面積の最低限度及び建築物の壁面の位置の制限について改める。

市道路線の認定

栃木地域内の県営寺尾北部地区土地改良(区画整理)事業及び大平地域並びに藤岡地域内の道路改良事業に伴い道路法の規定に基づき市道として、新たに13路線を認定するものです。

東日本大震災復興推進基金条例の制定

東日本大震災からの復興に向けて、住民生活の安定やコミュニティの再生、地域経済の復興・雇用維持等について、弾力的かつきめ細やかに対処するために必要な基金を設置するために条例を定めるものです。

教育委員会委員の任命

藤岡地域の筑比地幸子氏が本年5月18日をもって任期満了となるので、引き続き任命することについて同意したものです。

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員26名のうち、3名が本年6月30日をもって任期満了となるので、野澤千代子氏を引き続き、神原良明氏、池田育子氏を後任として、推薦することに同意したものです。

市政に対する一般質問

千葉正弘 議員
栃木創志会

- 東日本大震災の復興支援について栃木市の考えは
- 栃木市の公募債について
- 情報化計画について
- 蔵タク等への直通電話の設置を

被災地の瓦れき処理への考えは

被災地の瓦れき処理が迅速に行われるようにと本県に対する協力の要請もされたと、報道されているが、思うように進んでいない現状で、栃木市としてはどのように考えているか伺う。

答弁 鈴木市長

受入条件が整えば協力したい

平成23年4月13日に、県を通じて環境省から受入調査があり、栃木地区広域行政事務組合としては、燃やすごみの受け入れは可能であると回答した。

大出三夫 議員
平正会

- 市民税等徴収率向上対策について
- 債権管理条例の制定について
- 遊休農地を有効活用する対策について

市税の徴収率向上対策は

税の徴収率を高めていくには収納員の徴収体制を強化していくことが必要かと思われるが、嘱託収納員の研修はどのように行われているのか伺う。

答弁 川島理財部長

収納員のスキルアップや適正配置を検討していく

徴収実績を上げるためには、各収納員の徴収ノウハウの向上が有効であると考えており、収納員全体の研修や情報交換などを現在行っている。今後さらには徴収向上を目指すため、収納員との意見交換を行いながら、スキルアップや適正配置について、検討していきたいと考えている。

広瀬義明 議員
平正会

- 栃木市の商業活性化施策について
- 栃木市観光施策について

商業活性化事業計画の策定は

昨年11月に行政が市民に対して行ったアンケート調査によると、これからの施策として重要であると考えているのが商業についてであった。

合併して2年。新市の将来に向けての施策や計画が実施されてきているが、商業活性化事業計画または、商業環境形成指針といった道しるべを指し示す必要性について考えを伺う。

答弁 鈴木市長

総合計画の中で方向性を位置づける

安定した雇用の確保あるいは新たな流入人口の誘導、これらを図っていくには、何といっても産業の振興が必要不可欠である。

特に商業はまちの顔としての機能を有し、それから市民生活に密着した基礎となる事業、産業である。みんなが生き生きと働き、活力あふれるまちを目指していくには、どのようなビジョンと政策施策に基づき商業の振興を図っていくかが極めて重要である。

現在、本市では上位計画にもなる新市総合計画の策定に取り組んでいる。まずはこの総合計画の中で商業振興の方向性を位置づけるところから始め、今後の産業振興に資する手法の一つとして、引き続き研究をしていかなければならないと考える。



蔵の街大通りの商店街

永田 武志 議員
平正会

- 発達障がいへの支援対策は
- 障がいの移動支援は
- 障がいの雇用対策は
- 特別支援教育の充実を
- 地域生活移行への目標数値の設定は

障がい者福祉対策に向けた市長の見解は

市長のマニフェストである栃木クリエイティブ宣言、創造プラン3に、「安全で安心して暮らせる生活優先都市を目指して」「障がいの者や高齢者が自立し、尊厳を持って社会の一員として参画し普通に暮らせるまちづくりを推進します」とあるが、今後の障がい者福祉対策に向けた市長の見解を伺う。

答弁 鈴木市長 基盤づくりを進める

現在、市が策定中の障がい者福祉計画において、すべての人が生き生きと暮らせる優しさあふれるまちづくりを基本理念に掲げており、ライフステージに寄り添った福祉政策の展開を位置づけている。

置づけている。

今後は計画に位置づけられた施策を着実に実施できるよう自立した生活の基盤を構築するための障がい者雇用の充実や障がい児者が、生涯にわたって暮らすことのできる生活の拠点形成など、民間の企業や福祉施設などの連携による包括的な障がい者支援の基盤づくりを進めていきたいと考えている。

鮎田 榮一 議員
黎明

- 合併後の西方地域の振興施策について
- 障がい者等移送サービス事業について
- 小倉堰のストックマネジメント推進について

小倉堰の長寿命化を図るべきではないか

昭和29年に完成した小倉堰は築造以来57年が経過し経年劣化を避けることができない時期になってきている。そこで、今この時ストックマネジメント事業により長寿命化を図る必要があるのではないか、当局の

考えを伺う。

答弁 樋口西方総合支所次長 鋭意取り組んでいきたい

小倉堰は、受益面積594haの農地への農業用水の安定供給、農村環境の保全、加えて消防水利など多岐にわたる重要な役割を担っている堰であり、適切な維持管理を行い、将来にわたって保全していくことが肝要なことから、本市としても重要事業の一つとして位置付け、鋭意取り組んでいきたい。

長 芳孝 議員
黎明

- 栃木市市民活動支援制度
- 栃木中央小の新築に伴う旧栃木第一小の利活用
- まちの駅栃木の設置は
- 教育行政について
- 農業振興について

武道必修化への対応は

4月から中学校では柔道剣道、相撲のいずれかを、選択することとなるが栃木市は、どのように取り組んでいく考えなのか伺う。

答弁 赤堀教育長

指導技術の向上に努める

本市では、全中学校で必修化以前から、体育の授業において継続して剣道の指導を実施している。

今年度から「とちぎ未来アシストネットプラン事業」により、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを行っており、その中で、授業や部活動において地域の指導者の力添えをいただける取り組みを一層推進するとともに、県教育委員会との連携を図りながら、指導者のさらなる指導技術の向上に努めていきたい。

大阿久 岩人 議員
新生クラブ

- 学校給食について
- 弓道場の増設は
- ソフトボール専用球技場の設置について
- 藤川・柏倉川の整備は
- 皆川城址公園の管理は

皆川城址公園の管理についての考えは

皆川城址公園の今後の整

備作業には大平町にあるNPO法人太平洋山南山麓友会の運営方法をモデルとし整備管理団体を設立したいと思うが今後の方向性を伺う。

答弁 佐藤都市建設部長

活動団体の運営等を参考に検討する

現在、維持管理活動の実施に当たり、「元氣な森づくり市町村交付金事業」を導入いたしました。地元への支援を行っているが、平成25年度で「交付金事業」が終了することから、ご提案されている「NPO法人太平洋山南山麓友の会」の活動、運営等も参考にし、今後の管理の方法についても検討していきたい。



皆川城址公園

海老原 恵子 議員
新緑

- 24年度の予算について
- 予算編成に市民参加を
- 市債残高について
- 国府地区の道路状況・排水状況について
- 道普請事業について

国府地区の今後の整備及び計画は

市長は、国府地区の道路状況や排水状況をどのようにとらえ、どのように整備していくのか、また、思川幹線が通る大塚駅周辺の整備についてしっかりとした計画を示してほしい。

答弁 鈴木市長

地域の実情も考慮し計画的に行う

国府地区は、大光寺工業団地や惣社東産業団地などが整備され、四季の森などは、新興住宅地として形成されている。しかし、既存集落内の住環境の整備改善については、まだまだやらなければならないと認識している。

地元の皆様からも生活道路の拡幅、通学路の安全な通行の確保など多くの要望があるわけで、今後の道路整備に当たっては、地域の実情も十分に考慮しながら計画的、かつ確実に行っていかなければならないと考える。

次に、野州大塚周辺の下水道整備については、この地区を巴川流域公共下水道の新たな事業認可地区に含めて、本年3月の事業認可に向けて現在国及び県と最終的な協議を行っている。

また、整備計画については、新たな事業認可の期間が平成24年度から5年間の予定となっているところから、本地区もこの期間内の整備を目標として進んでいく考えである。

針谷 正夫 議員
黎明

- 西方地域のふれあいバス路線について
- 市内の二つの道の駅の今後の運営形態は

道の駅の今後の運営管理形態は

総合計画策定の中間報告の中で、道の駅みかも、道の駅にしかた、どちらの道の駅も地域情報発信、交流環境の創出を図るよう大きく取り上げられ、全市的なブランドデザインを描く上でも重要な施設とし生き続けなければならない。そのためにも経済的に富んだ、効率的で効果的な運営が望まれるところであるが、道の駅の今後の運営管理形態について伺う。



道の駅にしかた

答弁 鈴木市長

調査結果を踏まえ結論を

本市の道の駅は、それぞれの経緯と地域性にあった形態によって、運営をし、利用者や運営団体からは一定の評価をいただいている。しかし、直営での運営となると、利用者ニーズへの対応、効率性、利益追求の上では、限界があることも事実である。

今後競争がますます激しくなる道の駅の運営に当たっては民間活力をいかに導入していくかを考えなければならぬ。そこで、平成24年度から、研究業務を行うための調査研究費を予算に計上したので、その調査結果を踏まえ最終的に結論を出していきたい。

大島 光男 議員
栃木創志会

- 栃木市の消防体制について
- ・岩舟町との合併後の体制
- ・大量退職後の対策は
- 栃木市の観光について
- ・市内中心部と太平山周辺

岩舟町と合併した際の消防体制は

岩舟町との合併に際しての本市の消防体制をどのように考えているか伺う。

答弁 鈴木市長

協議を重ねながら検討していく

岩舟町の常備消防は、佐野市及び岩舟町をもって佐野地区広域消防組合を組織し、佐野市に消防本部及び消防署を設置し、消防業務を行っており、岩舟町は平成20年度に佐野消防東分署を設置して、消防業務を行っているが、合併すると、消防だけ別というわけにはいかないと思う。

人的、資産的な手当てなども含め本市と一体化をしていったほうがなにかと合理的でもあるし、また自然ではないかと思っはいるが、岩舟町の考え方、佐野市のご都合、あるいは消防組合のご都合などを伺いながら誠意を持って協議を重ね、検討をしていかなければと思っはいる。

渡辺 照明 議員
無党派

- 企業誘致について
- 財政の健全化について
- 栃木市を元気にする政策について

中根産業団地の状況は

中根産業団地については、工事に着手し、そろそろ業者の手も離れるかと思うが、誘致活動の進捗状況と今後の見通しを伺う。

答弁 中田産業振興部長

早期の分譲完了に向け積極的に取り組む

現在は工事を進めているところであり、また、先月までに県内の企業1社、県外の企業1社から買い受け申し込みがあり、分譲決定の手続きを行ったところである。

今後は、分譲を決定した企業に対し、工場等の設置や制度融資の利用に伴う事務手続き等を支援し、企業が円滑に操業を開始できるように努めていきたい。また、現在も数件の問い

合わせがあり、優れた立地環境や低廉な分譲価格、奨励金等の支援措置などをPRしながら的確な誘致活動を実施し、早期の分譲完了に向けて積極的に取り組んでいきたい。



中根産業団地

福富 善明 議員
新緑

○公共工事の入札及び契約の適正化について

入札参加業者の格付に主観点数は考慮するのか

経営状況や施工能力を評価するための指標として客観点数及び主観点数があるが、これらの点数は災害時における応急支援対策協定の締結の有無やその出勤回

数などにより加点調整措置が設けられるのか伺う。

答弁 尾上総務部長

先進事例の評価対象を参考に検討を進める

客観点数は、公共工事を受注するために必要な経営事項審査における総合評点であり、技術者の数、工事の実績高、会社の規模、各種社会保険や労災保険制度への加入の状況などを全国統一した算式を元に数値化したものであり、大多数の自治体において用いられている。

一方で、主観点数については、災害時相互援助協定の締結状況のほか、当該自治体発注の工事における過去の成績などを数値化し加算するものであり、格付けの際に採用している自治体と、していない自治体がある。

本市においては現在の平成23・24年度の入札参加資格が、合併後初めて行う入札参加資格審査であったことから、新市として同一基

準で評価した工事成績が一定数に達していなかったことなど、主観点数の算出根拠となる事項が十分にあるとは言えない状況であったため、客観点数のみで業者の格付を行ったところである。

今後は、定量的に評価できる項目を主観点数とし、客観点数に加点する形で、業者の格付を行うことができるよう、先進事例の評価対象を参考に検討を進めていきたい。

中島 克訓 議員
新生クラブ

- 郷土芸能の保護育成について
- 東日本大震災以後の栃木市の防災について

郷土芸能の保護育成は

各地において郷土芸能を護っている団体はいくつあるのか。また、それらに対する保護育成対策はどのようなように行っているのか伺う。

答弁 赤堀教育長

実態を把握し保護育成に努める

現在、市指定文化財の郷土芸能は11件あり、内訳として獅子舞4件、神楽4件、富田節などその他3件である。さらに各自治会などの単位で保存伝承されているお囃子等があるので、今後全体的な実態調査を行い正確な把握に努めたい。

保護育成対策としては、市内全域で保存伝承されている郷土芸能等の実態を把握した上で、伝承活動への市補助金の見直しについても検討するとともに、発表の場の提供など郷土芸能の保護育成に努める。



下野国庁まつり

白石 幹男 議員
無党派

- 社会保障と税の一体改革について
- 介護保険について
- 放射能汚染対策について
- 小規模特認校制度の導入について

小規模特認校制度の導入は

少子化が進む中で、今後小規模校対策は避けて通れない問題であるが、こうした状況を解消するためにも小規模特認校制度を導入すべきと考えるが見解を伺う。

答弁 赤堀教育長

大宮南小をモデル校に

本市としては、平成24年度より任期付市費負担教職員を採用し、複式学級の解消を図ることとしていたが、ご指摘のとおり、極端に見学数が少ない状況は、学校経営上決して好ましいとは言えずできる限り改善が必要と考えている。そこで、大宮南小学校と昨

年12月から話し合いをし、平成24年1月に定例教育委員会会で協議し本市初の試みとして小規模特認校制度の導入を検討するため、平成24年度から大宮南小学校をモデル校に指定し、平成25年4月からの実施を予定している。

今後は、大宮南小学校小規模特認校推進委員会を設置し、学校、保護者、地域住民、教育委員会が一緒になって本事業の推進に努めるとともに、その教育効果を確認しながら、本市ならではの小規模特認校制度のあり方を確立していきたいと考えている。



大宮南小学校

内海 成和 議員
栃木創志会

- PPS（特定規模電気事業者）から買電を
- 新病院に精神科を
- 渡良瀬遊水地の活用について
- ドイツとの姉妹都市提携について

PPSから買電の考えは

今年に入りPPSがわかに注目されてきたが、このPPSから栃木市が買電することで経費削減につながる可能性があるが、市としての考えを伺う。

答弁 鈴木市長

今後、導入を視野に検討を進めたい

一般に電力の供給については、東京電力をはじめとする各地域の電力会社が独占して行ってきた。

しかし、平成12年の電気事業法の改定により段階的な緩和が行われる中、特定規模電気事業者、いわゆるPPSと呼ばれる民間の事業者が、自前の発電設備等で作った電気を電力会社の

送電線を利用して販売することができるととなり、電力供給の自由化が進められている。

本市はこれまで庁舎等の公共施設においては、市民の皆様方に安全・安心なサービスの提供を図るため、安定的に電力の供給がうけられる電力会社から供給をうけてきたが東日本大震災による原発事故をきっかけに、新たなエネルギーへの転換が求められる中、電力不足や電力料金の値上げ等の対応から、低価格な電力の供給ができるPPSが注目され、現在民間企業が始め、自治体等において、PPSからの電力の供給が検討されているところである。

議員のご指摘のとおり、PPSからの電力導入については、経費削減につながるものが期待されているので、現在PPSに関するさまざまな情報の収集や課題の整理を行っており、今後、導入を視野に検討を進めていきたいと考えている。

大出 孝幸 議員
公明党議員会

- 東日本大震災における避難者の支援について
- 防災について
- 地域における避難訓練について

今後の避難者支援策は

栃木市に避難されている方々への心のケアについて市政として、今後の取り組みについて伺う。

答弁 尾上総務部長

専門職員が相談を行う機会を設ける

避難者の心のケアの方策の一つとして、多くの避難者に参加していただけるよう、内容を充実し工夫を凝らしながら、引き続き「ほっと茶話会」を実施していきたい。

そのためには、保健師や心理士などの専門職員が参加し傾聴や悩みごと相談を行う機会を設けるなど、避難者の心のケアが図れるよう努めてまいりたいと考えている。

入野 登志子 議員
公明党議員会

- 放射能汚染対策について
- 妊婦健診14回とワクチン接種の継続は大丈夫か
- タワククチン・高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に補助はできないか

肺炎球菌ワクチン接種の補助は

高齢者などを対象とした成人用の肺炎球菌ワクチンは認知度の低さや接種費用が高いことから普及が進まず財政的な支援が求められている。

公費助成を実施する自治体は年々増え続け、現在660にのぼる。接種費用が6千円から8千円程度かかるので、栃木市においても高齢者を守るために補助することはできないか伺う。

答弁 飯塚保健福祉部長

前向きに検討していきたい

現在、日本人の死因4番目に肺炎があり、高齢者を中心に肺炎で亡くなる方は年間およそ12万人。インフ

ルエンザにかかった方の4分の1が細菌性肺炎になるといわれ、肺炎全体の65%以上といわれている。

この細菌性肺炎は、肺炎球菌ワクチンを接種することにより肺炎に罹患する高齢者の方が減少し、仮に罹患しても重症化を防ぐことができ、通院、入院に係る医療費の削減も期待できるとの報告もあることから高齢者の健康を守り、元気で充実した日々を過ごしていただくためにも、接種費用の助成については前向きに検討していきたいと考える。

平池 紘士 議員
黎明

- 24年度予算について
- 太平山の活性化について
- 24年度教育方針について
- 部活バスについて

太平山の整備は、今後、県との連携をどうしていくのか

太平山は昭和30年に栃木県立自然公園に指定されたわけだが、栃木市と栃木県

がしっかりと連携し太平山を考えていってほしい。今後、栃木県とどのような連携をとって整備しているのか伺う。

答弁 鈴木市長

とちぎの元気な森づくり県民税を活用した事業導入を働きかけたい

今後の維持管理事業にあたっては、県にある「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した事業導入を働きかけ、少しでも県からの助成をしてほしいと思っている。

導入にあたっては、条件があり、その事業の受け皿となる地元の組織があるということが前提である。そのためには市としても、地の組織化、そして積極的にこの太平山を活用していく事業などを展開してもらえような、そうした民間の組織を、今でも一部あるが、より力強い組織を立ち上げていただけたらありがたいと考えている。



太平山

梅澤 米満 議員
黎明

- 街なか整備事業について
- 観光事業について
- 渡良瀬遊水地の利活用について

栃木駅南部地区の整備は

下都賀総合病院の移転に伴い、栃木駅南側周辺の土地画整備事業、新病院周辺の開発計画はどのようになっているのか伺う。

答弁 鈴木市長

具体的な計画の策定に努めたい

下都賀総合病院をはじめ

とした3病院の統合再編計画に伴い、(仮称)栃木地区メディカルセンター第1病院の建設予定地が昨年、栃木駅南部の川連及び牛久の一部に具体的に示された。本地域は、広域交通の要衝である栃木駅に近接しているという立地条件の優位性を活かし、教育・医療・福祉等の施設を核機能とする、緑豊かな快適で住みよい住環境を総合的に兼ね備えた「未来型ニュータウン」として、将来の定住促進に繋がる土地利用の誘導を進めていきたいと考える。

なお、土地利用の転換を具体的に図るためには、国や県の関係機関などの調整が必要であり、具現化までには相当の時間を要すると考える。

今後の総合計画と都市計画マスタープランにおいて、栃木駅南部の土地利用のビジョンや方向性を示すとともに、関係機関と連携し具体的な計画の策定に努めたいと考える。

常任委員会審査結果

総務常任委員会

日付 3月8日(木)
場所 皆川公民館

○付託議案

当初予算(一般会計のうち所管事項)、専決処分事項の承認、補正予算(一般会計のうち所管事項他1件)、条例の制定(市長等の給与の特例に関する条例他1件)、条例の一部改正(市税条例他7件)、条例の廃止1件、決算の認定(一般会計のうち所管事項)、陳情1件

○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で、原案のとおり可決、承認又は認定すべきものと、陳情は、賛成多数で採択すべきものと決定した。

○質疑応答

一般会計予算

質 国際交流協会補助金が前年比で増加した理由は

答 市内にある3つの協会を一本化するにあたり、事務局体制を強化する経費を計上したためであり、会員

の拡大など体質強化を図り独自の事業に取り組んでいただきたいと考えている。

質 市税等のコンビニ収納事業を導入する効果は

答 納付機会の拡大により納税者の利便性を図るものであるが、若干納付率の向上にも役立つと考える。

市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例

質 市長等の給与を5%減額する根拠は

答 厳しい財政状況を考慮して減額するものであり、生活給であることや近隣市町の状況を見て5%とした。原発から再生可能エネルギーの推進へエネルギー政策の転換を求める陳情

意見

風力、水力、太陽光などのエネルギーに期待をかけていくべきという観点から、採択すべきである。

意見

地球温暖化防止や原子力の平和利用ということで原発を推進してきた経緯があり、また、原発に替わるエネルギーを早急に生み

出せるのかという点で疑問が残る。この陳情は、時期尚早であるので、不採択とすべきである。

意見 再生可能エネルギーを代替エネルギーと認識できるまで、段階的に原子力発電所を削減していくという意味合いでいえば、この陳情に賛成の立場をとる。

民生常任委員会

日付 3月9日(金)
場所 皆川公民館

○付託議案

当初予算(一般会計他4件)、補正予算(一般会計他4件)、条例の制定(消費生活条例)、条例の一部改正(介護保険条例他4件)、決算の認定(一般会計他4件)、陳情1件

○審査結果

議案のうち、後期高齢者医療特別会計の当初予算及び後期高齢者医療特別会計の補正予算は討論があり、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、その他の議案は、いずれも討論なく全会一致で、

原案のとおり可決又は認定すべきものと、陳情は、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

○質疑応答

一般会計予算

質 コミュニティバス運行事業の改善見直しは

答 一部の路線で自由乗降制度の導入やルート変更等の見直しを予定している。

質 電気自動車の充電設備の設置予定は

答 まず、一箇所に設置し利用状況をみて拡大したい。

質 保育所の評価方法は

答 専門的立場から評価し、結果を第三者評価推進機構のホームページで公表する。

介護保険特別会計補正予算(保険事業)

質 合併前と比較して保険料の上昇が大きい地域があるが、激変緩和措置はとれないか

答 保険料を抑えるために一般会計から繰り入れることはできないが、基金を取り崩して保険料を抑える努力をした。

消費生活条例の制定

質 不適正な取引行為に対する立入調査の方法は

答 市民生活課及び消費生活センターが県の消費生活センター及び県のくらし安心安全課と連携して実施する。

質 事業所に指導・勧告を行う際に、協力を求める関係機関は

答 犯罪に関わる場合には警察に同行を求める。

「公的年金の改悪に反対する意見書」提出を求める陳情

意見 無収入の国民年金加入者が増え、年金が生活の糧となっていることから、減額すべきではないので、本陳情を採択すべき。

意見

将来にわたって税と社会保障の一体改革を進めなければならず、特例水準を解消し、減額することは致し方ないので、不採択とすべき。

意見

国の動きとしては、決して改悪しようとしていないわけではないので、不採択とすべき。

産業教育常任委員会

日時 3月12日(月)
場所 皆川公民館

○付託議案

条例の一部改正(公民館条例、図書館条例)、条例の廃止(後継者育成奨励金等)、補正予算(一般会計、中根企業用地)、平成24年度当初予算(一般会計、中根産業団地)、西方町一般会計決算

○審査結果

議案のうち、一般会計予算は討論があり、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、その他の議案は、討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

○質疑応答

一般会計予算

質 農業者戸別所得補償制度推進事業の内容は

答 販売価格が生産費を恒常的に下回る作物に差額を交付するもので、農業経営の安定を図り、麦・大豆・新規需要米等の作付を推進するものである。

質 獣害対策設備設置費補助金の内容は

答 野生獣の被害を受けている農業者が農地を守る為にワイヤー柵などを設ける場合の補助金である。

質 学校給食食材の放射能検査の方法は

答 一週間分の食材をまとめて、一日4〜5調理場の検査を行う。

質 企業誘致活動の内容は

答 設備投資のアンケートで情報を把握し、企業訪問や現地案内につなげるほか、展示会等でPRしたい。

質 市費負担教職員と小規模特認校の兼ね合いは

答 短期的には市費負担教職員で、中期的には小規模特認校、将来は学区の見直しも考えなくてはいけない。

一般会計補正予算

質 校舎のアスベスト撤去は終わったのか

答 市内の公立小中学校の撤去は全て終わった。

質 校舎の耐震化率は

答 今回の補正分が終了すると82.9%となる。

図書館条例の一部改正

質 西方図書館を栃木市図書館の分館とした理由は

答 図書館法により館が単独でないこと、図書館として分離すると館長と専門職を置くことが望ましいことになっていることなどから分館とした。

質 西方分館の人員配置は

答 職員1名を配置し、利用者には支障が出ないようにしたい。

建設常任委員会

日時 3月13日(火)
場所 皆川公民館

○付託議案

条例の一部改正3件、市道路線の認定、廃止、変更、補正予算(一般会計他5件)、平成24年度当初予算(一般会計他5件)、西方町歳入歳出決算(一般会計他3件)

○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で、原案のとおり可決又は認定すべきものと決定した。

○質疑応答

平成24年度当初予算

質 汚水処理の概要は

答 下水道計画区域は公共下水道、農業集落排水区域は農業集落排水、それ以外の区域は合併処理浄化槽による処理を推進したい。

質 緊急雇用創出事業終了に伴う道路等の維持管理における影響は

答 厳しい現状であり、今後除草や水路清掃に多少支障が出ると思われる。

質 公園の管理のあり方は

答 防犯上の危険を警察等から指摘されており、明るく見通しの良い公園を目指して管理している。

質 水道料金の統一は

答 今後、上下水道事業調査委員会に料金の統一を諮問したい。

質 木造住宅耐震診断費補助金の件数は

答 耐震診断費補助金が10件、耐震改修費補助金が3件です。

平成23年度当初補正予算

質 医療福祉モールにおける

未開院診療科医院の誘致対策は

答 事業者において調整中だが、市民のためにも、早期に開院できるように、努力したい。

質 藤岡地域の水道管の石綿管の状況と今後の計画は

答 石綿管が平成23年度末で約14km残っており、今後10年間、年間6〜7千万で計画して、約5km位残る予定である。

栃木市公園条例及び栃木市公園有料公園施設に関する条例の一部改正

質 大平運動公園施設の利用申請方法は

答 運動公園内の施設の利用は管理棟にて申請していただくことになる。

質 利用料金支払い方法は

答 申請の際に納入していただくことになる。

市道路線の認定

質 新たに市道認定する条件は

答 公道から公道に通る抜けができて、4m以上の幅員である。

討論

最終日の採決時に、委員長の報告に対する賛成、反対の意見を述べ他の議員の賛同を求めました。

平成24年度一般会計予算

反対 白石 幹男 議員
無会派

日本経済の長期低迷、大震災からの復興、消費税増税など日本の将来が益々不透明になっていくなかで総事業費が42億円ともいわれる大型開発はやめるべきである。しかもこの企業誘致型の経済活性化策は全国的事例を見れば、破たんが明らかとなつていくものであり事業の中止を求める。

また、企業立地奨励金の大幅増額もやめるべきである。こういうことに税金をつぎ込むのではなく福祉施策の充実や、中小企業、地場産業、農業を元気にすることにもっと税金をつぎ込むべきであり、開発型地域循環型の産業振興策に転換することを求める。

以上、市政の上で一番大きな問題点を指摘して一般会計予算に反対する。

平成24年度一般会計予算

賛成 関口 孫一郎 議員
黎明

合併して3年目を迎える今年度の予算編成は、合併協議において、「合併時は現行の通りとし、合併後に「再編をする」とした協定項目の調整に向けた予算も含め、新市まちづくり計画や鈴木市長のマニフェストを基本に、限られた原資の有効活用を図りながら予算編成したものであると思う。

また、合併後の持続可能な財政運営を見据え、それぞれの地域で歴史と伝統を積み重ねてきた行政運営をひとつにして、新生・栃木市の将来の発展を目指した、新市まちづくり計画の実現に向け、様々な課題の克服に努力しなければならぬ時期にあり、市民サービスの更なる向上と鈴木市長の今後の市政運営を期待して賛成するものである。

平成24年度国民健康保険特別会計予算

反対 白石 幹男 議員
無会派

昨年12月の議会で国民健康保険条例の改正が行われ全体的に引き下げとなったが、市民にとっては、まだまだ高く払いきれないのが実態である。

一般会計からの繰入で、市民負担のより一層の軽減を求め、滞納者への資格者証の発行はやめるべきであるため反対する。

賛成 中島 克訓 議員
新生クラブ

国民健康保険財政健全化計画などを策定し、国民健康保険税の収納率の向上や医療費適正化の推進など、被保険者の負担の公正・公平性を保ちながら、きめ細かな対策を行うなど、市民が安心して医療を受けることができ、国保事業の効果的で安定的な運営が出来る予算編成であると考えられることから賛成する。

平成24年度後期高齢者医療特別会計予算

反対 内海 成和 議員
栃木創志会

後期高齢者医療制度は当初の構想から外れて、現役世代に対する影響も出てきている。

現在そのていをなしていない、この後期高齢者医療制度は、早く廃止すべきである。また地方から声をあげていくことを私たちはしなければならぬことから反対する。

賛成 中島 克訓 議員
新生クラブ

紆余曲折を経て、合併した新生・栃木市の後期高齢者医療特別会計予算として、国の動向を見極めつつ、新たな高齢者医療制度へ移行するまでは、現行制度のもとで事業を行わなければならないわけであり、こうした状況のもとでは、当局において最大限に努力した予算編成であると判断できるので賛成をするものである。

介護保険条例の一部改正

反対 白石 幹男 議員
無会派

高齢者には年金の削減や後期高齢者医療の引き上げなど様々な国の悪政を押しつけられている現状の中での介護保険料の大幅な引き上げは認められない。

一般会計からの繰入で保険料の軽減を図るべきであるため反対する。

賛成 中島 克訓 議員
新生クラブ

所得段階の設定において、9段階11区分と多段階化による低所得者への軽減や、施設サービスを利用した際の食費、居住費の軽減制度がある。また、生活困難な方については、社会福祉法人の協力を得て減額制度を実施しており、利用者負担の軽減については、現行の国の介護保険制度に沿って工夫をしながら対応していることから賛成する。

審議を行いました議案等の審議結果は以下のとおりです。

○…賛成 ●…反対 -…退席

議案番号	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号	11号	12号	13号	14号	15号	16号~24号	55号	25号	26号	27号	28号	
	当初予算											補正予算					特別会計条例の一部改正					
議員	一般会計	国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計(保険事業勘定)	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	下水道特別会計	農業集落排水特別会計	JR大平下駅前土地区画整理特別会計	医療福祉モジュール特別会計	中根産業団地特別会計	水道事業会計	市長の専決処分事項の承認について	一般会計(第8号)	国民健康保険特別会計(第3号)	後期高齢者医療特別会計(第3号)	介護保険・下水道・農業集落排水・地域改善対策住宅新築資金等交付・JR大平下駅前土地区画整理・医療福祉モジュール・中根企業用地・水道事業	下水道特別会計(第4号)	東日本大震災復興推進基金条例の制定	市長・副市長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定	消費生活条例の制定	特別会計条例の一部改正	
	採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	承認	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
針谷正夫(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鮎田博(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鮎田榮一(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白石幹男(無会派)	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡辺照明(無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岩義祐(平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
海老原恵子(新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松本喜一(無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
増山敬之(新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須田安柝(新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
入野啓志子(公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福富善明(新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広瀬義明(平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氏家晃(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福田裕司(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阿久岩人(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大川秀子(無会派)	議長のため採決には加わらない。																					
天谷浩明(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
梅澤米満(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大島光男(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長芳孝(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大武真一(栃木創志会)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中島克訓(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
関口孫一郎(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平池紘士(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉正弘(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大出三夫(平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
萩原繁(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
慶野昭次(新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内海成和(栃木創志会)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小堀良江(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大出孝幸(公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡賢治(新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永田武志(平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市民12カ所の議会報告会を開催!!

1月16日から1月31日の期間に、栃木地域4カ所、大平・藤岡・都賀・西方地域各2カ所、計12カ所の会場で、平成23年度の議会報告会を開催いたしました。

議会報告会では、下都賀総合病院、福田屋百貨店跡、オリン晃電社工場跡地土地購入問題、岩舟町との合併についての4項目の報告及び、質疑応答を行った後、それ以外の項目について市民の皆様との意見交換を行いました。

今回の議会報告会は、1月の寒い時期に開催したにもかかわらず、全会場を合計して298名と多くの市民の皆様が、参加して下さいました。



議会報告会で、市民の皆様より寄せられた意見の一部をご紹介します。いただきます。

下都賀総合病院について

● 駐車場が広く、駅から近く、通院しやすい環境をつくっていただければ良いと思う。

● 周辺道路の整備をお願いしたい。

● 2ヘクタールでは敷地が狭い。駅が近いといっても実際は車の利用になると思われるので、駐車場については考慮してほしい。

● 医師、看護師を確保するために、待遇改善、保育施設を含めて充実させるべきである。

● 栃木市の医療をどうするか、これからも真剣に長い目で取り組んでいただきたいと思う。

福田屋百貨店跡について

● 立体駐車場、周りの環境など、地元の商店街と話し合っていたきたい。まちな活性化だけでなく、利用者側を配慮してほしい。

● アクセス道路の渋滞が心配であるので検討を十分行ってほしい。

● 福田屋の件は期待しているが、食料品スーパーだけでも先にできないか。

● もっと利便性のある駐車スペースとかに配置換えすべきである。

● 栃木地域の中心市街地の問題だけを論じるのではなく、西方から藤岡までのことを考えて、市役所がどこにあるべきかを考える必要がある。

オリン晃電社工場跡地土地購入問題について

● 土地の購入が持ち回り決裁であったようだが、これからはやめてもらい、議会で諮るべきものは、しっかりと諮っていただきたい。

● いい意味で公益通報を浸透させなければいけない。

● 議会での監視機能が働くような仕組みづくりが大切である。

● 公益通報は、職員を十分カバーしないと機能しないので検討してもらいたい。

● 百条委員会が設置され、損害賠償請求したことは良い結果である。

意見交換にて出された項目

○ 学区変更及び小規模特認校制度について

○ ラムサール条約登録の推進について

○ 今後のエネルギー対策について

○ 避難所等について

○ 通学路の安全確保について

○ 議員定数の見直しについて

○ 未利用市有地の活用について

○ 民有地における空き家問題について

○ 議会の活性化について



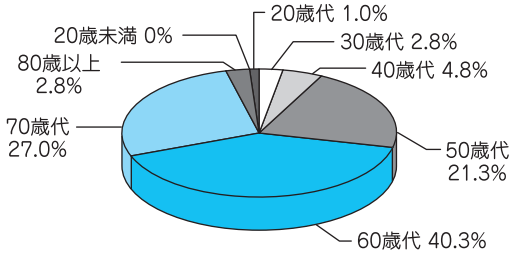
大平公民館で開催された議会報告会

今回の報告会では、意見交換で数多くの項目が市民の皆様から提案されましたので、提案された項目については、今後、議会で研究させていただき、政策提案に結びつけてまいりたいと考えております。

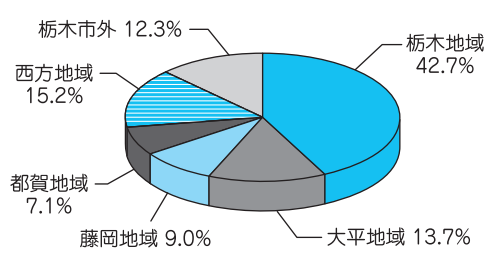
また、この議会報告会は、今後も継続して開催していきますので、開催時期や、周知方法などを検討しながら、さらに多くの市民の皆様にご参加いただけますよう努力してまいります。

議会報告会アンケートの集計結果

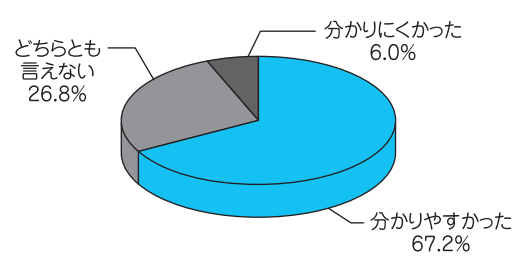
年齢



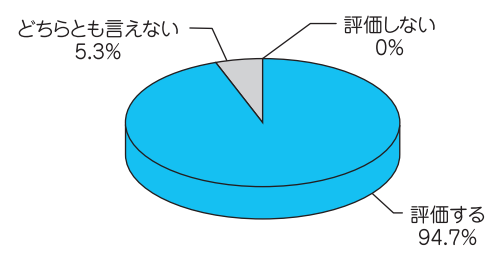
お住まいはどちらですか



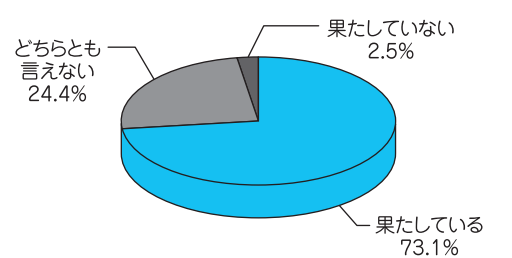
説明の内容について



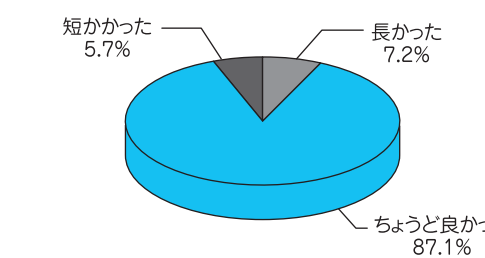
議会報告会を開催したことの評価



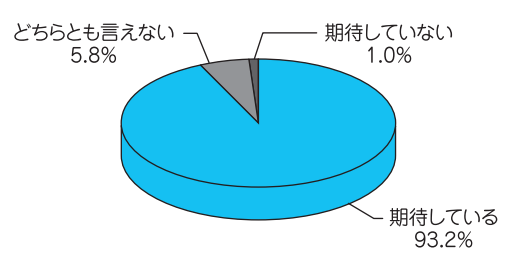
議会の役割について



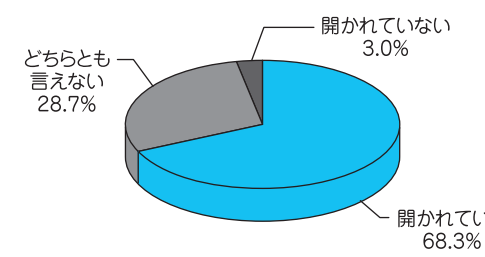
説明時間について



議会への期待について



開かれた議会（議会の情報公開）

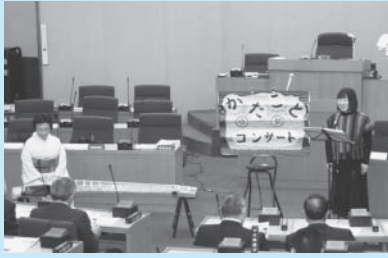


- ・年 1 回でもこうした報告会が行われることは大変良い。できれば年 2 回が良い。
- ・議会基本条例の具現化を積極的に図っていただきたい。
- ・二元代表制を念頭に、議会は行政が行うことを議会の視点から経過を説明し行政に賛成・反対したのだと出せば、論点・争点が明確になると思う。
- ・報告会の出席者が少ない。出席者が増えるようPRをすべきである。
- ・議会報告会であるので、議会での論点等を報告すべきである。
- ・市は従来から計画を立てるのは得意であるが、実行力が伴っていない。議会は進行管理を含め、そのチェック機能を果たしていただきたい。
- ・市民の視点に立った市民に必要とされる議会を目指していただきたい。
- ・是々非々の立場で、行政のチェック機能を十分に行っていただきたい。
- ・市民の意見要望等を良く聞いて議会に反映していただきたい。
- ・議会報告会は、市民が議会を知る上で意義のあることと思う。開催時期は、暖かい時や土日の昼間又は夕方 6 時からの開会の方が参加しやすいと思う。
- ・討議内容を市民へ伝達・報告していただけることはありがたいと思う。案件は、短期間で対応することを望む。

議会報告会に参加された市民の皆様には、アンケート調査をお願いしましたので、その結果をお知らせいたします。（下は記載いただいた自由意見です。）

議場コンサート

3月定例会の議場コンサートは、茂呂久美子さんと石林哲子さんによる「かたことコンサート」が行われました。「かたことコンサート」とは、語りを琴の音色にのせて、わらべ歌や民話をたくさんの人に届けたいという思いから生まれたもので、1999年の夏にスタートして以来、幼稚園や学校、公民館等にて出前コンサートを行っているとのことでもあります。



本会議傍聴者アンケートにより寄せられた意見

本会議を傍聴された市民の皆様から色々な意見や感想が寄せられましたので一部ご紹介します。

○議会にどのような関心があるか

- ・市民のための市政が行われているかどうか。
- ・私達が選んだ議員がどのような活動をしているか。
- ・新市になってどう改革されていくか。

○傍聴した感想は

- ・同じ質問が多く時間を多く費やしている。
- ・答弁の内容に具体性が無い。
- ・オリン電社問題について時間が少ない。新聞でわかっていること以上に詰めてほしかった。
- ・同一質問をまとめたら時間短縮となる。くどい面があるので、簡潔にまとめてほしい。

○ご意見ご感想

- ・議員の質問項目が多すぎる。途中で質問停止はかけられないのか。
- ・議員は執行部に対して美辞麗句は不要であり、実のある質問内容を望む。
- ・答弁者に女性がいらないが、女性の割合は。

※皆様からのご意見、ご要望につきましては、委員会等で検討中です。

議会を傍聴してみませんか。

6月定例会は、6月1日(金)

開会予定です。

詳細は議会事務局まで、

電話 21-2253

FAX 25-2231



広報紙発行特別委員会

今回も、最後までご愛読いただき、ありがとうございます。読みやすい・見やすい・解りやすい・広報紙として、編集委員一丸となって作成いたしました。

新年度も、創意工夫を凝らし、内容に富んだ市議会だよりを目指してまいります。

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 白石 幹男 |
| 副委員長 | 氏家 晃 |
| 委員 | 増山 敬之 |
| 入野登志子 | 須田 安柝 |
| 芳孝 | 天谷 浩明 |
| 永田 武志 | |

議会の主なうごき

1月

- 16日 議員研究会
議会広報紙発行特別委員会
- 16日～31日(土日を除く)
議会報告会(各会場)
- 27日 議会改革検討委員会
議員研修会
議会広報紙発行特別委員会

2月

- 2日～3日
民生常任委員会視察
建設常任委員会視察
- 6日～7日
総務常任委員会視察
- 15日 議員全員協議会
議会運営委員会
議員研究会
- 16日 民生常任委員研究会
- 24日 議会運営委員会
本会議(初日)
議員全員協議会
政治倫理条例検討委員会
議会報告運営委員会
- 28日 本会議(一般質問)
- 29日 本会議(一般質問)

3月

- 1日 本会議(一般質問)
- 2日 本会議(一般質問)
- 5日 総務常任委員会(予算説明)
民生常任委員会(予算説明)
- 6日 産業教育常任委員会(予算説明)
建設常任委員会(予算説明)
- 7日 議員全員協議会
議会報告運営委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 民生常任委員会
- 12日 産業教育常任委員会
- 13日 建設常任委員会
- 22日 議会運営委員会
本会議(最終日)
議会運営委員研究会
議会広報紙発行特別委員会
- 23日 議員全員協議会
議会報告運営委員会
- 29日 議会改革検討委員会